

## 社協あたご（第57号）表紙

12月13日（火）（主管 広報部）

愛宕地区社会福祉協議会の広報誌である“社協あたご”に連載中の「あたごの歴史シリーズ」について、次回第57号は「竹内南圃先生頌徳碑」をテーマとすることを、12月13日開催の広報部会で決定した。広報誌に掲載予定の写真と本文は以下のとおりです。



### 竹内南圃先生頌徳碑

愛宕小学校東門そばに建てられている竹内先生は、門前村の豪農、秋田多四郎の三男として生まれ、のち叔父竹内丙次郎の養子となり、竹内姓となられ「南圃」と号された。

名は留太郎、幼時は藩校養老館に入り、卒業後は門前小学の教師となった。

以後約四十年にわたり育英の道に生涯を捧げた。

先生に教えを受けた者たちが頌徳碑の建設をはかり、有志あげて寄金し明治四十二年碑は完成した。表の「竹内南圃先生頌徳碑」は、門前の庄屋中村氏の養子になられた中村是公の書、裏面の文は南方一枝、書は秋田米吉少将である。

この碑は最初旧愛宕村役場の近くにあったが、現在は愛宕小学校東門そばに移された。